

入学試験

9月試験

出願期間 8月

試験 9月

試験科目 一般入試
専門科目・英語・面接
外国人留学生入試
専門科目・面接
社会人入試
小論文・面接

2月試験

出願期間 1月

試験 2月

試験科目 一般入試
専門科目・英語・面接
外国人留学生入試
専門科目・面接
社会人入試
小論文・面接

※ 下記の問合せ先まで Email でお気軽にご相談ください。特に、出願時に指導教員を選択していただくので、事前に希望する研究内容や学びについて、ご確認くださいをお勧めします。

※【駒澤大学在籍者】推薦入学制度があります。

※ より詳細な情報については当研究科 Web サイトをご覧ください (URL: gmsweb.komazawa-u.ac.jp/gsgm)



入学定員 修士課程
10名
博士後期課程
3名

修業年限 修士課程
2年
博士後期課程
3年

修学サポート

学生支援機構の奨学金が受けられます。成績優秀者は、返還免除・一部返還免除が受けられます。学部教育の TA (Teaching Assistant) などを勤めることができます。

第1研究館 (院生研究室)



院生研究室 (修士課程)



院生研究室 (博士後期課程)



※ 現在は、パーティションを設置し感染症対策を行っています。

問い合わせ先

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 駒澤大学大学院グローバル・メディア研究科
Email: info-GMGraduate@komazawa-u.ac.jp
【グローバル・メディア研究科 Web サイト】gmsweb.komazawa-u.ac.jp/gsgm

facebook
GMS FACEBOOK

講演会などのお知らせや、活動報告といった情報を掲載しています。



Be different, Be global

Graduate School of Global Media,
Komazawa University

駒澤大学大学院

グローバル・メディア研究科

修士課程, 博士後期課程
Master Course, Ph.D. Course

駒澤大学大学院「グローバル・メディア (GM) 研究科 (Graduate School of Global Media)」はグローバルに発展するメディアの最新動向に関する幅広い知識と実践的な英語力を有し、企業、政府・自治体、NPO、国際機関などで活躍する専門的な人材の育成を目指して 2013 年に開設されました。2015 年には博士後期課程も設置しています。留学生のほか、夜間や土曜日にも開講し、オンライン・リソースも活用することで社会人にも広く門戸を開放しており、国籍、年齢、職業経験において多様な学生がそれぞれの目標に向けて学んでいます。

コース概要

1 高度な専門的な職業人・高度な専門的研究・開発能力を有する職業人の育成

修士課程では、学際的なアプローチによるメディア研究を深め、社会経済のグローバル化に資する高度な専門的な職業人の育成を目指します。博士後期課程では、メディアに関する学際的な専門知識の上に立った高度な専門的研究・開発能力を有する職業人の育成を目指します。

2 独創的なカリキュラム編成

「人文・社会」「経営・経済」「政治・法律」「情報」の4つの専門分野と、これら4分野を融合する学際的思考能力を高めるプログラムを展開します。

3 研究指導はプロジェクト指導制

入学時から指導教員を中心として複数の教員で個々の学生の関心、研究テーマに合わせたプロジェクト指導制をとります。

4 海外経験豊富な教員による指導

複数の外国人教員を含め、教員それぞれが研究やビジネスなどでの国内外における多様な経験を生かした教育を行います。

5 実践的な英語能力の涵養

グローバルな研究経験が豊富なネイティブ教員による英語指導および、留学生に向けて日本語指導を行います。

6 夜間・土曜日を中心とした履修

社会人の方は、夜間・土曜日を中心とした履修も可能です。



※現在は、オンラインの活用や換気パーティション設置などの感染症対策を行ったうえで授業を行っています。

在学生たちの声



修士課程 山口 心愛 さん

私はGM研究科で経営学やマーケティングにフォーカスを当てた研究を行い、修士論文では、若年層のきもの着用習慣の拡大に関するテーマに取り組んでいます。この研究科では経営学だけでなく、他の人文社会科学や情報学なども学びながら、学際的に研究ができることが大きな特徴だと思います。また英語で行う授業を受講し、英語力を向上させることができました。自分の興味あるテーマを自由に研究対象とすることができ、選択肢が多いことが大きな魅力となっています。

博士後期課程 ハク ロ さん

私の研究テーマは、香格里拉（シャングリラ）という中国の少数民族地域のイメージ変遷と観光地化です。このテーマが多くの学問分野と関連しているため、学際的な大学院であるGM研究科を志望しました。自分の研究テーマについて、多様な専門分野の先生方からさまざまな分析の視点について教えていただくのを楽しんでいます。本研究科での学びは、私にとってかけがえのない体験となっています。



カリキュラムの概要

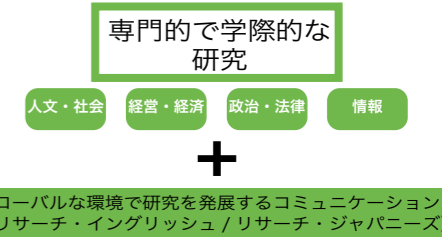
学際性を活かしたプロジェクト指導制

修士課程では、入学時に選択した指導教員の演習を中心に指導を進めます。学生の研究プロジェクトの進行に合わせて、適切な分野の教員の演習を、適切なタイミングで履修していきます。特定の分野を深く学ぶために、近い専門分野の他の教員を選択することも、学際的なテーマに取り組むために異なる分野の教員を選択することも可能です。

学際的テーマを研究する場合の関連する専門分野例

- ・ビッグデータ解析やテキストマイニングなどを用いた社会研究、経済・経営研究（情報学と社会学、情報学と経営学）
- ・AIが文化や経済へ与える影響（情報学と文化学、情報学と経済学）
- ・文化政策や文化産業などの経済的側面（文化学、法学、経済学）

※博士後期課程でも複数の教員の演習を履修することが可能です。



カリキュラム一覧

修士課程

【講義科目】		【語学科目(講義科目)】		【演習科目】	
科目名	単位	科目名	単位	各分野	単位
人文・社会		政治・法律		語学	
グローバル文化論	2	グローバル・リレーションズ論	2	リサーチ・イングリッシュ	2
グローバル・メディア社会史	2	政治家とグローバル・メディア	2	リサーチ・ジャパニーズ	2
グローバル映像文化論	2	情報法研究	2		
経営・経済		情報			
グローバル・ファイナンス論	2	モバイルユビキタスコンピューティング論	2	GM特別研究(人文・社会1-6)	各2
グローバル・マーケティング論	2	次世代メディア・コンテンツ構成法	2	GM特別研究(経営・経済1-6)	各2
グローバル・経済政策論	2	グローバル・デジタルネットワーク論	2	GM特別研究(政治・法律1-3)	各2
グローバル・産業経済論	2	コンテンツ情報処理	2	GM特別研究(情報1-5)	各2
グローバル・メディア産業論	2				

【課程修了の要件・学位】
修士課程に2年以上在籍し、所定の専攻科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査および最終試験に合格しなければならない(指導教員の演習については1年次と2年次各4単位ずつ、他の教員の演習については2単位以上、講義科目10単位以上の履修が必要)。
【学位】
修士(メディア学, Master of Media Studies)

博士後期課程

【講義科目】		【演習科目】	
科目名	単位	各分野	単位
人文・社会		政治・法律	
グローバル・メディア社会史特殊研究	2	グローバルリレーションズ論特殊研究	2
グローバル映像文化論特殊研究	2	情報	
グローバル文化論特殊研究	2	次世代メディアコンテンツ構成法特殊研究	2
経営・経済		グローバル・デジタルネットワーク特殊研究	2
メディアファイナンス論特殊研究	2	ユビキタスコンピューティング論特殊研究	2
グローバルメディア制度論特殊研究	2		
グローバル・マーケティング論特殊研究	2		

【課程修了の要件・学位】
博士後期課程に3年以上在籍し、必修科目18単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出してその審査および最終試験に合格しなければならない(指導教員演習科目12単位および指導教員講義科目2単位の計14単位を必須とする。このほか4単位は他教員の講義科目または演習科目を履修)。
【学位】
博士(メディア学, Ph.D. in Media Studies)

主な進路

【修士修了者】

- ・IBM ビジネスコンサルティングサービス株式会社
- ・任天堂株式会社
- ・Samantha Thavasa Japan Limited
- ・ドコモ・テクノロジー株式会社
- ・北京字節跳動科技有限公司(バイトダンス)
- ・駒澤大学大学院 GM 研究科 博士後期課程

【博士後期課程修了者】

- ・東京通信大学情報マネジメント学部
- ・駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部
- ・浙江傳媒学院 ジャーナリズムとコミュニケーション学部(研究科含む)